

Ⅱ 既刊研究業績および刊行物

1. 学術誌等での発表

細馬康二*・村山達朗：改良小型かけまわし底びき網漁船と操業の改善について．海洋水産エンジニアリング、35、11-20(2004)．

清川智之・佐々木 正：オニオコゼ仔稚魚飼育における大量斃死軽減のための2,3の試み．栽培漁業技術開発研究、32、5-13(2005)．

石飛 裕*・平塚純一*・桑原弘道*・山室真澄*・中村由行*・森脇晋平：宍道湖におけるコノシロの成長・成熟と大量斃死．水産海洋研究、69、37-44(2005)．

(* : 当該職員以外の共著者)

2. 当該が刊行した調査研究報告書

島根県水産試験場研究報告 第12号(平成17年3月)

- ・島根県浜田沖に沈設された高層魚礁に蝟集する魚類の経年変動.....森脇晋平・為石起司・若林英人・松本洋典・田中伸和・齋藤寛之
- ・底曳き網漁獲物の鮮度保持の実態.....石原成嗣
- ・インジェクション法を利用した魚肉への凍結耐性付与技術の開発.....開内 洋・井岡 久
- ・大田市柳瀬海域におけるサザエの大量斃死現象と原因の検討.....内田 浩・由木雄一
- ・島根沿岸の流れ藻に付随する魚類の出現特性.....森脇晋平・為石起司・齋藤寛之・古江幸治・若林英人
- ・ばいかご漁業における選択漁具の開発.....為石起司・村山達朗
- ・小型底びき網漁業1種における漁具軽量化試験.....若林英人
- ・漁獲管理情報処理システムの開発.....村山達朗・若林英人・安木 茂・沖野 晃・伊藤 薫*・林 博文*
- ・島根県敬川沖における魚類の出現特性(Ⅰ).....松本洋典

(* : 当該職員以外の共著者)

3. 他機関と共同で刊行した調査研究報告書

開内 洋・井岡 久：先端技術利用による近海水産資源の高品質安全食品加工技術の開発に関する総括報告書．平成14～15年度．先端技術等地域実用化研究促進事業(平成16年7月)．

清川智之・開内 洋・石原成嗣：釣獲したメダイの高品質化に向けての取り組み．水産物の利用に関する共同研究第45集．第52回日本海水産物利用担当者会議(平成17年3月)．

石原成嗣・井岡 久・清川智之：殺菌冷海水装置の効果について．水産物の利用に関する共同研究第45集．第52回日本海水産物利用担当者会議(平成17年3月)．

道根淳：平成16年度資源増大技術開発事業報告書(地域型中・底層種グループ(魚類B)) (平成17年)．

村山達朗・北沢博夫*：日本海におけるヤリイカの成長と成熟．平成15年度イカ類資源研究会議報告(平成16年12月)．

(* : 当該職員以外の共著者)

4 . その他刊行物

平成 15 年度島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果 . 島根県 (平成 16 年 6 月)

島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果 . 島根県 (平成 16 年度各四半期)

島根原子力発電所温排水影響調査研究報告書 . 島根県水産試験場鹿島浅海分場 (No. 24)
(平成 16 年 3 月)

平成 16 年度トビウオ通信

- ・ 4 月号「平成 16 年度上半期浮魚中長期漁況予報」
 - ・ 5 月号「メダイのブランド化 (高品質化) の重要性」
 - ・ 6 月号「平成 15 年漁期の底びき網漁業の動向」
 - ・ 7 月号「アカアマダイの中間育成と種苗放流」
 - ・ 8 月号「殺菌冷海水による漁獲物の品質向上について」
 - ・ 9 月号「平成 16 年夏の漁況を振り返って」
 - ・ 10 月号「エチゼンクラゲ特集号」
 - ・ 11 月号「平成 16 年度下半期浮魚中長期漁況予報」
 - ・ 12 月号「平成 16 年度冬季スルメイカ 1 月号「平成 16 年漁期前半の底びき網漁業の動向」
 - ・ 2 月号「平成 16 年まき網漁業の動向」
 - ・ 3 月号「平成 16 年の島根県漁業の動向」
- 「とびっくす」
- ・ No. 1 「とびっくす」の発行について, 八夕類の外部寄生虫
 - ・ No. 2 特集: 海からの珍客
- 水産試験場だより (第 24 号)